

がんに対するピンポイント治療

済生会今治病院 放射線治療専門医の片岡正明先生に
「患者さんに優しい放射線治療」について伺いました。



▲片岡正明医師

する本治療についてお話しします。

がんに対するピンポイント治療（≒定位放射線治療…以下本治療）は、近年の医療機器の進歩に伴って可能となった治療です。特に脳腫瘍に対するこの治療は、一部では手術に代わる治療となっています。

結果として、副作用が少なく（すなわち患者さんの体の負担が少なく）、高い効果が短期間で得られ、すべてにおいて優れた治療となつていきます。

当初は小型肺がん、肝がんなどを中心に治療されましたが、保険適応も拡大され、前立腺がん、オリゴ転移（個数の少ない転移巣）などに対しても用いられるようになっていきます。当院の放射線治療機は、サイバーナイフとリニアックを備え、その選択肢は広がっています。

皆さんも一度、主治医に相談し考えてはいかがでしょうか。

これについては、先の号でサイバーナイフについて、当院西崎医師が述べています。今回は頭以外のがんに対

する本治療についてお話しします。

本治療の最大の特徴は、線量の集中性（線量分布の良さ）にあります。周りの正常な組織の線量が少なく、一回に大きい線量を、短期間に用いることができます。

サイバーナイフは、その追尾機能を生かし、呼吸に伴う動き、腸内のガスによる移動に追隨して治療でき、肺がんや前立腺がんなど

どに対して威力を発揮します。

一方リニアックは、ややサイズが大きく、複雑な形の腫瘍、サイバーナイフで追尾できない腫瘍に対して威力を発揮します。

社会福祉法人



済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>

☎0898-47-2500

